

日本語教育機関名：東方国際学院	
評価方法 A：達成している B：一部達成している C：改善が必要	
点検・評価項目	
1.教育理念・目標	評価
1-1.学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっている	A
1-2 理念、教育目標が社会の要請に合致していることを確認している	A
〈理念・ミッション〉〈育成する人材像〉 外国人に対する日本語教育を通して、国際親善、文化交流、世界平和に貢献できる人材の育成。 日本語を学ぶのみならず、日本の心と文化を理解し、世界に活躍できる「国際人」の人材育成を目指します。	
2.学校運営	評価
2-1.日本語教育機関の告示基準に適合している	A
2-2 理念、目標に沿った運営方針や事業計画が定められている	A
2-3 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A
2-4 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等について、適切に対処している	A
3.教育活動	評価
3-1.カリキュラムが体系的に編成されている	A
3-2. 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている	A
3-3. 成績評価や進級、修了の判定基準は明確となり、運用されている	A
3-4.生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されている	A
3-5.教員の指導力向上のための取組、教育課程の改善のための取組が行われている	A
4.学習成果	評価
4-1. 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
4-2.日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している	A
4-3.修了・卒業の判定を適切に行っている	A
4-4.生徒の進路を適切に把握しているか	A
4-5.卒業生及び修了生の状況を把握するための取組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している	B
5.学生支援	評価
5-1.生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	A
5-2.進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A
5-3.学生の希望する進路を把握している	A
5-4.入学時からの一貫した進路指導を行っている。	A
5-5.日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。	A
5-6.住居支援を行っている	A
5-7.アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
日本語、中国語、英語、ベトナム語など多言語対応できる職員が相談に乗り、サポートしている。	

6.教育環境	評価
6-1.日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A
6-2.教材は適切か	A
6-3.学習効率を図るための環境整備がなされているか	A
6-4.視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A
6-5.法令上必要な設備等を備えている	A
2017年10月に、2号館新校舎完成。各教室には、ノートパソコン、大型モニター、DVDプレイヤー完備。オンライン授業を行う場合は、オンライン会議システム（ZOOM）を使用して実施している。	
7.入学者の募集	評価
7-1.入学者の募集は適切に行われている	A
7-2.機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている	A
7-3.海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している	A
7-4.入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている	A
7-5.学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A
生徒募集にあたっては留学目的、日本語力、学習意欲、経費支弁能力等を考慮し、日本で問題なく日本語学習を継続できる優秀な生徒を選抜している。	
8.財務	評価
8-1.財務状況は、中長期的に安定している	A
8-2.予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A
8-3.適正な会計監査が実施されている	A
財務については予算および収入計画に基づいて適切に学校を運営しており、中長期的な経営基盤は安定している。	
9.法令遵守	評価
9-1.教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている	B
9-2.個人情報保護のための対策を行っている	A
9-3.関係省庁への届出、報告を遅滞なく行っている	A
本学院は法令や設置基準を満たしており、法務省より3年連続「適正校」の認定を受けている。東京入国管理局への定期報告等も適正に行っている。法令等の遵守や個人情報の保護に努めている。	
10.地域貢献・社会貢献	評価
10-1.日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	A
10-2.域や関連行政との交流や情報交換を行っている	B
10-3.学生ボランティア活動への支援を行っている	C
備考： 日本人地域住民ボランティアの方々との交流会、コロナ渦で活動が制限されているが、今後は活動を再開する計画である。	